

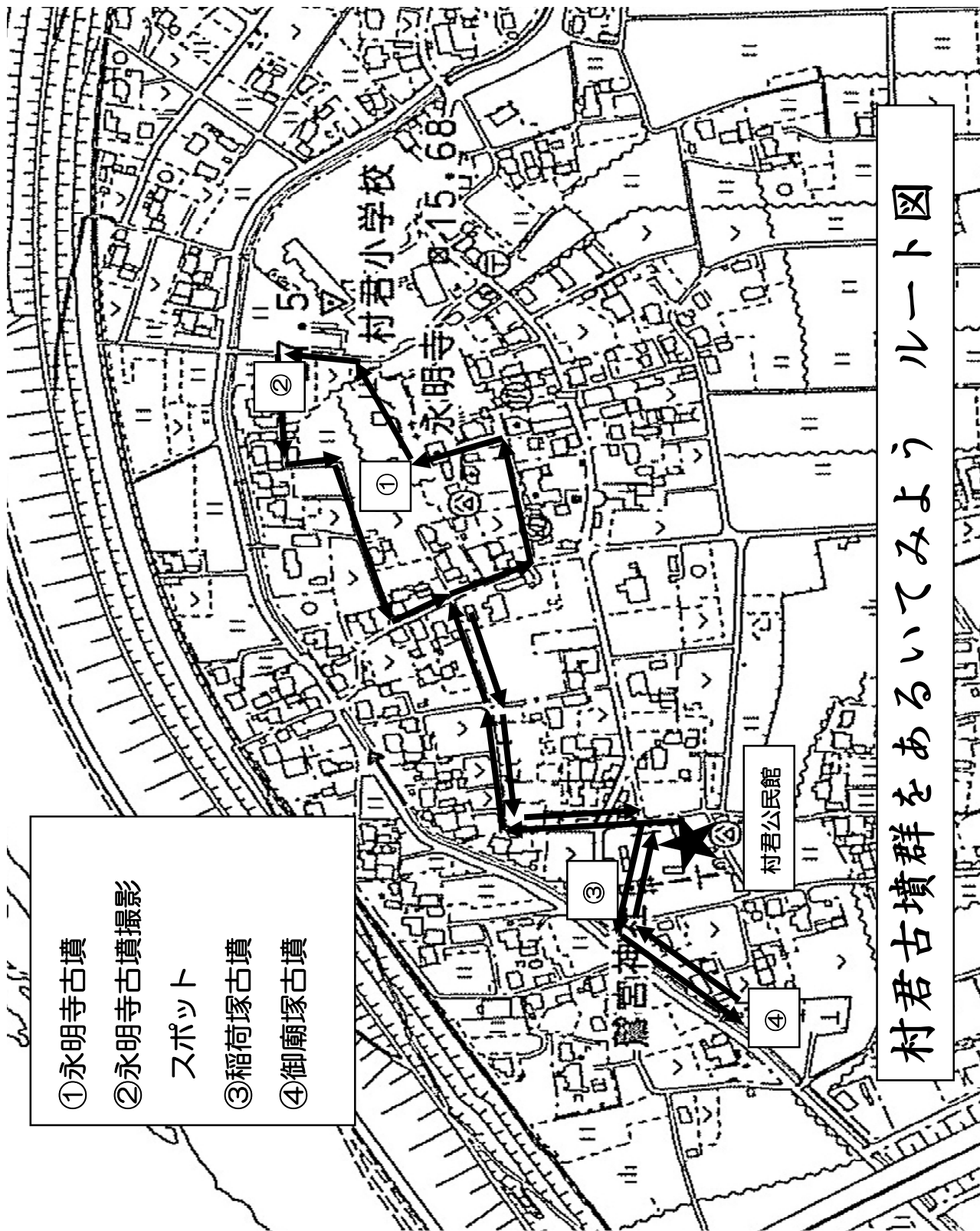
①永明寺古墳

②永明寺古墳撮影
スポット

③稻荷塚古墳

④御廟塚古墳

村君古墳群をあるいてみよう ルート図



気まぐれ散歩 in ^{むらきみ}村君古墳群 古墳解説

村君古墳群とは？

羽生市内には多くの古墳群（古墳のまとまり）があります。^{しんごう}新郷古墳群、羽生古墳群、^{おさき}尾崎古墳群、今泉古墳群、村君古墳群とあります。その中でも村君古墳群は羽生を代表する古墳群といえます。

村君古墳群は羽生市下村君にあります。現在残っているのは永明寺境内にある^{ようめいじ}永明寺古墳、公民館の南西用水路沿いにある^{みびょうつか}御廟塚古墳、鷲宮神社の社殿下にある^{いなりつか}稲荷塚古墳の3基が残っていますが、それ以外の大部分の古墳は消滅してしまいました。

稲荷塚古墳

現在は古墳の上に鷲宮神社が^{ちんざ}鎮座しています。大部分が削平されていますが、墳丘は径約20m、高さが1.5mです。かつて社殿改修の際に「^{かつちゅう}甲冑姿の埴輪」が出土したとの伝承があります。

御廟塚古墳

前方後円墳であるといわれていますが、規模は不明です。現在は南側の^{ぜんぽうぶ}前方部が残っており、北側の^{こうえんぶ}後円部が平らになり、用水路で南北が分断されています。

明治8年（1875）また明治13年（1880）に開墾のため発掘され、石室の天井石や馬具（^{くつわ}轡）が見つかったという伝承があります。

^{ひこさしまのおう}彦佐島王と村君古墳群

^{けいこう}景行天皇55年に東山道一五の国の都督に任命され、^{ととく}豊城入彦の孫「彦佐島王」関連の^{ふんぼ}墳墓の伝承があります。村君古墳群内の御廟塚古墳がその墓に当たるといわれていますが、実際は不明です。

「村君」という名前は、「^{むら}邑」：人が集まる、「^{きみ}君」：身分が高い、の意味があります。「君」という意味は彦佐島王の伝承が関係しているかもしれません。